

## 岩手県野田村の支援・交流活動報告(2014年9月20日)

当日は、ほどよい秋晴れでした。私は寒さを感じましたが、市民の方が、丁度良い季候だねと仰っていました。バスで大鰐 IC に行く途中の線路をまたぐ陸橋から、稲刈り前の田んぼが見えました。バスの中でとてもきれいだねと話していました。参加者は、市民参加者 10 名、講師 1 名、学生 8 名、教員 1 名の計 20 名でした。今回は、市民、学生共に女性の参加が多かったです。



今回行ったのは、3つの活動です。

第 1 は、押し花教室とその後の茶話交流会です。押し花教室は、工藤先生が講師をつとめて下さいました。午前中は野田中学校仮設集会所で行いましたが、仮設住宅の皆様は、我々の到着を待っていて下さいました。その後、12 時過ぎに、その場で昼食をとりました。差し入れとして、赤石さんが作って下さったきゅうりの漬け物や卵焼き、イカ、おにぎりがとても美味しかったです。簡単に清掃した後、午後はバスで生涯学習センターに移動して、押し花教室第 2 回を行いました。

押し花の作り方は、しおり、コースター、はがき大の色紙に、工藤先生が集めて乾燥させて下さった押し花をちりばめ、熱をかける機械に通せば完成です。あまり難しく考えずに、感性のままに花を散らしていくとよいとの事でした。地元の方、ボランティア共にほとんどが女性でしたが、今回は初めていらっしゃる方も多かったようです。周囲からは、「河合君は人見知りがなくってよいよね」と言われるのですが、初対面の人ともすぐに打ち解けることができるおばちゃんパワー（失礼）はすごいなと率直に感じました。

事務局としては私が参加したのですが、写真を撮るのを失念したため、代わりに私が作った押し花を掲載します。



第 2 は、小学生向けの児童クラブ学習支援ボランティアで、今回は「ファッションショー」を行いました。児童クラブでの活動には、大学生が 6 名参加してくれました。

今回の活動内容であるファッションショーに向けての準備として、大学生 1 人に対して、子供が 3~4 人ほど集まり、それぞれ思い思いの服装を作っていました。

笑顔が絶えず、学生、子供たちともにとっても充実した時間を過ごすことができたことと思います。

作成された服装は、どれも愛らしく、子供たちに似合いすぎていて、思わず抱きつきたくなってしまうほどでした。

ファッションショーが始まると、元気な音楽とともに、子供達が笑顔で登場して来ます。子供たちは、自分で作った服に対する思いを、素直に、楽しそうに話していました。

今回の活動は、学生とコミュニケーションをしながら、子供が自由にものをつくることができ、子供たちにとってとても楽しく大切な時間となったのではないかと思います。



第 3 は、今まで住んでいた方が出られた仮設住宅の清掃のお手伝いです。今回は、「国民宿舎えぼし荘」の近くにある下安家地区の仮設住宅でした。急ぎょ依頼をいただいたのですが、着替え等を準備してこられた方もいらっしゃいました。いざ仮設住宅にお邪魔してみると、換気扇やコンロ、それらの周りの壁には油汚れが目立ち、それらをきれいにするのに思った以上に時間がかかりました。油汚れを落とす洗剤を使い、スチールウールで

こすり、なんとか元の白さを取り戻すことができました。

窓にも汚れがありました。市民の方が持ってきてくださった窓を拭くための道具のおかげで簡単にきれいにできました。

今回の清掃活動も市民の皆様の事前の準備と清掃の手際のよさのおかげで無事終わることができました。市民の皆様の生活の知恵や経験はすごいなと感じました。



まずは、当日は久慈市で秋祭りがあったにもかかわらず、お越し下さった皆様に深く御礼申し上げます。事務局として実質的に初めての引率でしたが、私自身が楽しんでいただけかも知れません。私は、弘前での懇親会には時折参加するのですが、懇親会以外の場で、市民の方と色々と突っ込んで話をすることができたのは初めてでした。とても充実していました。しかしこれらは、野田村社会福祉協議会の皆様による橋渡し（地味に感動しました）、押し花教室の工藤先生の細やかな準備のたまものです。もちろん、学生事務局の皆様にも感謝です。ありがとうございました。

(担当：河合正雄)